

創造都市の可能性

同志社大学
創造経済研究センター
総括シンポジウム

とき：3月13日(火) 13時～16時30分
(受付開始12時30分)

ところ：同志社大学今出川キャンパス
良心館1階 RY103

主催：同志社大学 創造経済研究センター
共催：同志社大学 ライフリスク研究センター
事前申し込み：不要・入場無料

シンポジウム前半 13時～15時

「創造都市・京都の可能性」

Session 1

5年間にわたる「創造経済・創造都市研究」の成果を踏まえ、文化庁移転を間近に控えた「創造都市・京都」の課題を探求する待望のシンポジウム
特集「産業都市・京都の未来-歴史都市の産業政策-」(『地域開発』2018年1月号)に寄稿された気鋭の論者を迎えて「創造都市としての京都の可能性と発展戦略」を討論します。

パネリスト / 発表テーマ

■産業都市・京都の未来■ ～これからの京都産業を考える～



パネリスト
白須正
龍谷大学 政策学部 教授
1955年10月京都市生まれ。1978年3月京都大学法学部卒業、同4月京都市役所入庁。2002年スーパーテクノシティ推進室長、2005年京都創生推進室長、2007年(財)京都高度技術研究所専務理事、2011年産業観光局長、2014年産業戦略監を経て2016年3月京都市退職、同4月龍谷大学政策学部教授に就任。

■京都から生まれる未来の伝統■ ～京都の伝統産業の現状と可能性～



パネリスト
各務亮
株式会社電通 京都支社 文化事業構想部プロデューサー
株式会社電通入社以来、約10年、中国・インド・シンガポールなど海外を移り住みグローバル企業の現地戦略を担当。2011年京都支社へ、企業のグローバル戦略を担当しながら、ライフワークとして工芸の海外発信「GOON」はじめ文化プロジェクトを幅広くプロデュース。伝統にアイデアをかけ合わせ、まだ世にないプロダクトやサービスを生み出すべく奮闘中。

■価値創造都市・京都に向けて■ ～知恵ビジネス創出の取組み～



パネリスト
柴 隆利
京都商工会議所 中小企業経営支援センター 知恵産業推進室 室長
平成6年に京都商工会議所入所。新産業やベンチャー育成、まちづくり、観光振興などに携わる。平成26年より現職の中小企業経営支援センター・知恵産業推進室長に就任し、企業の強みや京都の地域特性を活かした「知恵ビジネス」の推進に取り組む。

■京都市の新産業政策■



パネリスト
石田 洋也
京都市産業観光局 新産業振興室 室長
昭和61年に京都市役所入庁後、平成18年文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課担当課長、平成22年総合企画局政策企画室京都創生課長、平成26年産業観光局産業戦略部企業立地推進担当部長を経て、平成28年より現職。



コメンテーター
吉本光宏
株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事
1958年徳島県生。文化施設開発やアート計画のコンサルティング、文化政策、創造都市、五輪文化プログラム等の調査研究に取り組む。現在、文化審議会文化政策部会委員、東京2020組織委員会文化・教育委員、主な著作に「アート戦略都市-EU・日本のクリエイティブシティ」(監修)等。



コメンテーター
太下 義之
三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター 首席研究員 / センター長 独立行政法人国立美術館 理事
専門は文化政策、博士(芸術学)。公益社団法人日展理事。文化経済学会<日本>監事。文化政策学会理事。東京芸術文化評議会委員。新潟アーツカウンシル・アドバイザー。鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム発起人。



モデレーター
佐々木雅幸
文化庁地域文化創生本部主任研究官 同志社大学経済学部特別客員教授
金沢大学経済学部、立命館大学政策科学部、大阪市立大学大学院創造都市研究科で教授を経て、2014年4月から2017年3月までは文化庁文化芸術創造都市振興室長を務める。創造都市ネットワーク日本の顧問として、国内の様々な創造都市の取組を支援。主な著書に「創造都市の経済学」、「創造都市への挑戦」など。

Session 2

Kyoto Manifesto

“Platform of New Economy Based on Humanity and Spirituality”

St.CORE研究会が過去4年間に渡って行った研究について映像を通して振り返りディスカッションを行う。

探求テーマ



登壇者



ツトム・ヤマシタ
アーティスト Stomu Yamashita
打楽器のソリストとして世界的なオーケストラと共演。ヘンツェ、武満等と共に、打楽器ソロによる楽曲を数多く生み上げ、打楽器音楽の巨匠となる。「レッド・ブッタ・シアター」、ロックグループ「GO」を結成し、ジャンルを越えたフュージョンの先駆けとなり、世界に旋風を巻き起こす。仏教音楽を研鑽し石の楽器「サマカイト」との出会いにより、神道と禅・仏教、音を融合した「音禅楽」、新たな音楽形態を確立。



八木 匡
同志社大学 経済学部 教授
京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経て、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事(2002年～2007年)、文化経済学会<日本>副会長(2016年～) 主著: European Economic Review等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality等の著書を執筆。

- 主催 / 同志社大学 創造経済研究センター
- 共催 / 同志社大学 ライフリスク研究センター
- 協力 / 文化庁 地域文化創生本部
- 後援 / 京都市 京都市文化局

■シンポジウムお問合せ先 /
同志社大学 創造経済研究センター事務局
〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入
Tel:075-251-3728 Fax:075-251-3727
rc-csce@mail.doshisha.ac.jp (代表アドレス)
創造経済研究センター HP :http://csce.doshisha.ac.jp

